

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	競技力向上ナショナルプロジェクト(チーム「ニッポン」マルチサポート事業、次世代アスリート特別強化推進事業)		担当部局庁	スポーツ・青少年局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度		担当課室	競技スポーツ課		競技スポーツ課長 声立 訓		
会計区分	一般会計		施策名	XI-3 我が国の国際競技力の向上				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—		関係する計画、 通知等	スポーツ振興基本計画 (平成12年9月13日策定、平成18年9月21日改定) スポーツ立国戦略 (平成22年8月26日策定)				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	トップレベル競技者が世界の強豪国に競い勝ち、確実にメダルを獲得するために、スポーツ医・科学を活用した包括的な支援と競技用具やトレーニング機器の研究開発を行う(チーム「ニッポン」マルチ・サポート事業)とともに、オリンピック競技大会で活躍する次世代のアスリート育成に向け、競技団体の強化活動を統括するナショナルコーチ等を配置(次世代アスリート特別強化推進事業)し、オリンピック競技大会でのメダル獲得率3.5%を実現する。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	(1)チーム「ニッポン」マルチ・サポート事業 トップレベル競技者に対して、スポーツ医・科学、栄養学等を活用した多方面からの専門的かつ高度な支援を包括的に行うとともに、競技用具・トレーニング機器などの研究開発を実施する。 (2)次世代アスリート特別強化推進事業 オリンピック競技大会でメダル獲得が期待できる競技団体について、強化活動全般を統括するナショナルコーチを配置し、競技団体のレベルアップを図る。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予 算 の 状 況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		当初予算	—	530	2,412	394	394	
		補正予算	—	0	0	0		
		繰越し等	—	0	△8	8		
	計	—	530	2,404	402	394		
	執行額	—	530	2,404				
執行率(%)		100.0%	100.0%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (24年度)	
	夏季・冬季オリンピック競技大会を合わせたメダル獲得率	成果実績	%	H18トリノ・H20北京 2.15%	H20北京・H22バンクーバー 2.47%		3.5%	
		達成度	%	61.4%	70.6%			
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	(1)チーム「ニッポン」マルチ・サポート事業 ロンドンオリンピック、ソチオリンピックでメダル獲得が期待できるターゲット競技数	活動実績	競技数	8	8	15	(17)	
		(2)次世代アスリート特別強化推進事業 オリンピック競技大会でメダルの獲得が期待できる競技団体数	(当初見込み)	競技団体数	—	—	18	(18) (20)
単位当たり コスト	(1)チーム「ニッポン」マルチ・サポート事業 ターゲット1競技当たりのコスト (131,982,001円/1競技)		算出根拠	単位当たりコスト=平成22年度チーム「ニッポン」マルチ・サポート事業 執行額(1,979,730,018円)/ターゲット競技数(15競技)				
	(2)次世代アスリート特別強化推進事業 ナショナルコーチ設置1競技団体当たりのコスト (23,570,638円/1競技団体)			単位当たりコスト=平成22年度次世代アスリート特別強化推進事業 執行額(424,271,484円)/ナショナルコーチ設置競技団体数(18競技団体)				
平成23・24年度 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	職員旅費、スポーツ振興事業委託費	394百万円	394百万円					
	計	394百万円	394百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・予算の執行状況に係る点検方法については、委託先団体から提出される委託事業完了報告書、証拠書類(賃金出納簿、見積書、納品書、請求書、領収書等)により適切な執行がなされているか検査を行った。</p> <p>・資金の流れ、使途の点検方法については、定例的に事務担当者との面接を実施し、事業の進捗状況と経費支出状況を聴取するとともに、現地調査を行い、適切な執行がなされているか確認を行った。</p> <p>・活動実績に係る点検方法については、委託先団体から提出される委託事業完了報告書、成果物により確認するとともに、実地検査を行うことで、事業内容や管理状況について確認を行った。</p> <p>・事業成果としては、チーム「ニッポン」マルチサポート事業において、新たに7つのターゲット競技を選定し、オリンピックでのメダル獲得に向けたサポート体制が整備された。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点： この事業は、トップレベル競技者のメダル獲得や競技団体のレベルアップを図ることを目的とした事業であり、契約・執行手続きの観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見： ①我が国の国際競技力の向上を図るための必要な経費である。 ②平成23年度予算において、メニューの一部を発展的に他事業と統合するとともに、積算単価の見直しを図り、予算の縮減を図っている。平成24年度概算要求においても、引き続き事業の効果的・効率的な実施を目指し、コスト縮減等に努めるべきである。 ③競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>執行実績を踏まえて賃金積算を見直し、概算要求に▲1百万円反映した。 契約にあたっては、公募期間の延長するなど、競争性の確保に努める。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

文部科学省
2,404百万円

スポーツ振興基本計画(平成12年9月策定)に掲げる政策目標の一つである「早期にメダル獲得率3.5%」の実現に向けて、平成20年度から『チーム「ニッポン」マルチ・サポート事業』を実施し、トップアスリートに対する多方面からの高度な支援を総合的に行ってきた。
また、平成21年度から、オリンピックにおいてメダル獲得が有望視される17競技種目においてナショナルコーチを設置し、国際競技力の向上を図ってきた。
世界の強豪国がメダル獲得に向け、多額の国家予算を投じてさまざまな方策を講じている中、我が国としても、トップレベル競技者に対するマルチ・サポート体制の拡充とナショナルコーチ制度を充実させ、国際競技力の更なる向上を図る。

【公募・委託】

A. (独)日本スポーツ振興センター
984百万円

【チーム「ニッポン」マルチ・サポート事業(アスリート支援の実施等)】

スポーツ科・医学・報戦略など多方面からの専門的かつ高度な支援を実施。

【公募・委託】

B. 国立大学法人筑波大学
996百万円

【チーム「ニッポン」マルチ・サポート事業(研究開発プロジェクトの実施)】

競技用具やトレーニング機器等の研究開発を実施。

【随意契約・再委託】

D. 企業、大学(全21団体)
443百万円

日本人選手の体格や技術に適した競技用具やトレーニング機器等の開発。

【公募・委託】

C. (財)日本オリンピック委員会
424百万円

【次世代アスリート特別強化推進事業】

柔道、水泳、レスリング、体操、陸上競技、バレーボール、サッカー、卓球、フェンシング、バドミントン、テニス、ウェイトリフティング、自転車、セーリング、ホッケー、ライフル射撃、ボート、トライアスロンの18競技について、強化活動全般を統括するナショナルコーチを配置。

【随意契約・再委託】

E. 競技団体(全18団体)
384百万円

ナショナルコーチの配置に係る管理。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.(独)日本スポーツ振興センター			E.(社)日本フェンシング協会		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
賃金	スタッフ賃金	266	人件費	ナショナルコーチ賃金・保険料	39
旅費	大会・合宿帯同旅費、諸外国調査旅費	217			
設備備品費	アスリート支援活動関連設備品、マルチサポート・ハウス関連設備品	163			
借損料	OA機器リース、マルチサポート・ハウス会場借料	123			
一般管理費		88			
消耗品費	アスリート支援活動関連消耗品、マルチサポート・ハウス関連消耗品	31			
雑役務費	サポート関係資料等翻訳代、諸外国調査等通訳代	27			
消費税相当額	賃金、外国旅費	24			
通信運搬費	海外用携帯電話通話料、海外用インターネット通信料	24			
諸謝金	映像編集・加工作業謝金	19			
その他	会議費等	2			
計		984	計		39
B.国立大学法人筑波大学			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
再委託費	移動体追跡解析技術、日本ナショナルチーム用自転車等の研究開発	443			
設備備品費	ボディスキャナー、レーザー式速度測定装置等研究開発のための設備備品	309			
一般管理費		50			
雑役務費	加速度計計測ユニット設計、マシン改良・加工製作	49			
消耗品費	競技に関する研究開発関連消耗品、トレーニングに関する研究開発関連消費	47			
賃金	スタッフ賃金	43			
諸謝金	計測補助員、被験者	23			
旅費	試作品テスト帯同旅費	23			
通信運搬費	精密機器運搬、実験機材運搬	9			
計		996	計		0
C.(財)日本オリンピック委員会			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
再委託費	ナショナルコーチ賃金・保険料・謝金	384			
旅費	ナショナルコーチ遠征費	37			
印刷製本費	ナショナルコーチ証明書、報告書印刷費	2			
その他	一般事務補助員賃金、会議費	1			
計		424	計		0
D.(株)スケール			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
設備備品費	移動体追跡解析装置	55			
賃金	共同研究要員雇用	15			
消耗品費	GPS	12			
一般管理費		9			
諸謝金	被験者、データ整理	3			
雑役務費	データ解析費	2			
旅費	打合せ旅費	2			
印刷製本費	資料印刷	1			
通信運搬費	機材搬送費	1			
計		100	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出され
 ている者について記載
 する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.チーム「ニッポン」マルチ・サポート事業(アスリート支援の実施等)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)日本スポーツ振興センター	スポーツ科学・医学・情報戦略など多方面からの専門的かつ高度な支援を実施	984	企画競争	—

B.チーム「ニッポン」マルチ・サポート事業(研究開発プロジェクトの実施)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人筑波大学	競技用具やトレーニング機器等の研究開発を実施	996	企画競争	—

C.次世代アスリート特別強化推進事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本オリンピック委員会	18競技について、強化活動全般を統括するナショナルコーチを配置	424	企画競争	—

D.日本人選手の体格や技術に適した競技用具やトレーニング機器等の開発

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)スケール	移動体追跡解析技術の開発	100	随意契約	—
2	ブリヂストンサイクル(株)	日本ナショナルチーム用自転車の研究開発	49	随意契約	—
3	国立大学法人東京医科歯科大学	高圧治療によるリハビリ法の研究	30	随意契約	—
4	(株)西日本流体技研	レース環境及び艇の性能解析に関する研究	25	随意契約	—
5	順天堂大学	特殊トレッドミルの研究開発	25	随意契約	—
6	(株)アポワテック	体幹トレーニングマシンの開発	20	随意契約	—
7	国立大学法人電気通信大学	特殊筋力強化トレーニング機器の研究開発	20	随意契約	—
8	国立大学法人鹿屋体育大学	移動体解析技術の研究開発	20	随意契約	—
9	国立大学法人三重大学	酸素濃度調整マスクの研究開発	20	随意契約	—
10	(株)医学生物研究所	唾液中のストレスマーカーの簡易測定キットの開発	20	随意契約	—

E.ナショナルコーチの配置に係る管理

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)日本フェンシング協会	ナショナルコーチの配置に係る管理	39	随意契約	—
2	(財)日本サッカー協会	ナショナルコーチの配置に係る管理	35	随意契約	—
3	(財)日本体操協会	ナショナルコーチの配置に係る管理	30	随意契約	—
4	(財)日本自転車競技連盟	ナショナルコーチの配置に係る管理	28	随意契約	—
5	(財)日本卓球協会	ナショナルコーチの配置に係る管理	27	随意契約	—
6	(財)日本テニス協会	ナショナルコーチの配置に係る管理	27	随意契約	—
7	(財)日本レスリング協会	ナショナルコーチの配置に係る管理	24	随意契約	—
8	(財)日本バドミントン協会	ナショナルコーチの配置に係る管理	24	随意契約	—
9	(財)日本セーリング連盟	ナショナルコーチの配置に係る管理	21	随意契約	—
10	(社)日本トライアスロン連合	ナショナルコーチの配置に係る管理	18	随意契約	—